

踏み跡 <My Mountains>

道志	赤鞍ヶ岳と菜畑山	No.214
----	----------	--------

「ユニシス山中湖マラソンに参加した後、山をひとつ登って帰る」。中央高速の渋滞を避けて道志川沿いの道を車で走って帰る時にこんなことを思いついた。山中湖からのアクセスを考えると、御坂山塊・道志山塊・西丹沢・大菩薩などなど、地図を見てリストアップしてみるとかなりの山を消化できそうだ。

昭和40年代に道志山塊を集中的に研究し、歩きまわった。九州支店への転勤を機会にそのリズムが途切れたままになっていた。道志山塊・御坂山塊の登り残した山を狙うのも悪くないなという結論に達した。

平成3年4月21日

天気は晴れ、湖畔のセブンイレ

ブンで食糧を整えてユニシス山中湖寮を9時に出発。山伏峠をトンネルで抜けて道志に入ると新緑の香りに包まれる。谷間の春は遅いが、その分美しい。

竹之本に9時20分到着。戸渡から櫓沢に沿って登るルートを考えていたが、入口がよくわからないので、竹之本の「赤鞍ヶ岳登山口」の標識に従うことにした。登山口の民宿の前に車を止めさせていただこうと思って声をかけたら、おじさんが出てきて駐車スペースを確保してくれた上に山の様子なども教えてくれた。登山スタイルに着替えて10時に歩き始め。竹之本は海拔600mぐらいなので赤鞍の頂上までは700m近く登らなければならない。心して歩かねば・・・と思いつつ歩き始めたら、ワラビがかなりたっぷり生えている。気が散って仕方がないが、「下りの時に採ることにしよう」と自分に言って聞かせて登りに集中。邪念を払った成果あり、一気に登り切り赤鞍ヶ岳に11時10分に到着。昼食はセブンイレブンのおにぎりに焼肉の缶詰、牛乳パック。山頂よりもやや南側のピークの方が眺めが良さそうだが、いずれにせよ期待に反して富士山をみることはできなかった。谷を挟んで対面している大室山・加入道山がどっしりと大きい。西へ進み高丸山で南西に方向を変えて下りきって本坂峠12時39分。やはりここから戸渡へ下るルートはあった。今朝見つけられなかったルートが確認できたので成果あり。

ブドウ岩の頭で南に方向を変えて小さな起伏の繰り返し。そして最後に標高差200mの登りをクリアして菜畑山(1283.3m)に到着。13時27分、まだ余裕のある時刻なので軽食と休憩とする。眼下に道志川の谷、その向こうに丹沢の山、軽食の後は昼寝を楽しむことにした。

突然の雷鳴で目が覚めた。時計を見ると30分ほど眠ったようだ。黒雲に覆われているのであわてて下山開始、14時。山頂の標識に導かれて川原畑への道を下ると10分ほどでNHKのアンテナがあり、そこからコンクリート舗装の道が始まった。おそらくアンテナを建てる時に作られた道に違いない。送電線の鉄塔の下から山腹を巻いて戸渡方面へ下って行く道を発見したので、このルートを下ることにした。

途中から雨が降り始めたが、ワラビ・ゼンマイ・タラノメをとりながら下る楽しい下りになった。戸渡ルートも確認できて、竹之本の駐車地点に15時30分に帰着。

顔を洗って、16時に出発。ラジオで道路交通情報を聴いたら「中央自動車道は事故で渋滞」と報じていたので、東野から相模湖へ出て国道20号線を走って八王子インターから中央自動車道に入った。

自宅着は22時20分。たっぷり楽しんでくると渋滞に引っ掛かりやすく、帰りが遅くなってしまふ。これが唯一の悩みだ。

以上

